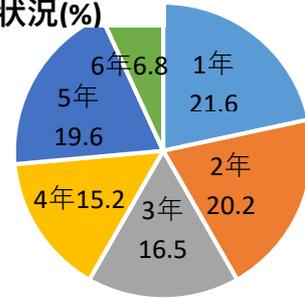


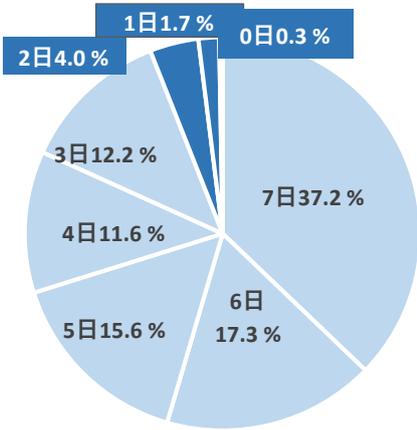
うんちチェック集計結果(南小)

◆学年別提出状況(%)

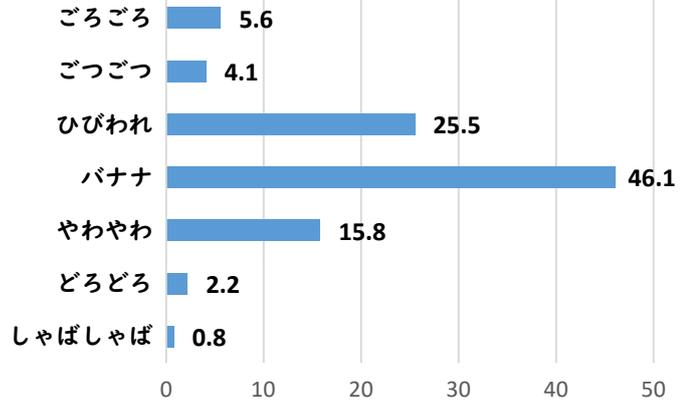


2学期にご協力いただきました「うんちチェックシート」の集計結果をお知らせします。提出率は467人中352人で

◆7日間のうち、排便があった日数



◆便形状ごとの割合



・7日間のうち排便が毎日あった割合は37%(131人)でした。2日が4%(14人)、1日が1.7%(6人)、0日が0.3%(1人)でした。

・形状は最も多かったのがバナナ状で約半数、ごろごろ・ごつごつが約1割でした。硬い便(ごろごろ・ごつごつ)が7日間のうち2日以上出たのは13%で、全国平均(14.6%)をやや下回りました。学年別で硬い便が2日以上割合は、1年生が22%で、その他の学年は10%前後でした。

*データのほとんどが全国平均とあまり差がありませんでした。硬めの便は便秘につながります。年齢が低いほど、硬い便で痛い経験をすると出そうとしなくなり、ますます便秘がちになるといわれています。また便意を催したとき出せないことが続くのも便秘の原因の1つです。食事の内容と併せて、決まった時間に排便する習慣をつけたいものです。

〈全国の結果(NPO法人日本トイレ研究所「小学生の排便に関する記録調査2021」から転載)〉

